

消 防 年 報

平成29年版



松 浦 市 消 防 本 部

市章



松浦市の頭文字であるアルファベット大文字の「M」をモチーフに「産業創造」の未来へ躍進する都市の姿をダイナミックに図案化し、ハートの形で「個性」きらめく「交流(ふれあい)」と「ぬくもり」のあるまちづくりを表現しています。また、赤は太陽を、緑と青で豊かな自然を表しています。

市の木 (まき)



本市では、昔から住宅の生垣に多く用いられ、特に高生垣は、「ひゃーし」と呼ばれ、独特の景観を形成し、馴染みが深く、松浦市にふさわしい木です。

市の花 (つばき)



本市の山野に数多く自生し、福島町初崎地区一帯には5万本を超える群生林があり、沿道にも多くの並木が存在します。馴染みが深く、多彩な花を凜として咲かせる姿は、松浦市にふさわしい花です。

市歌

松浦市歌 ともに未来へ

作詞 縣 恒則
作曲 黒澤 吉徳

1 か が や く う み に い だ か れ
2 あ ゐ れ る だ い ち の め く み を う け

て ひ と と — — ひ と と の わ を ゐ か
て み ら い を — — は く く む ち を ゐ か

め と も に — て を と り つ く り ゆ
め と も に — か た く み つ く り ゆ

く う つ く し い — ま つ う ら す こ や か
く た く ま し い — ま つ う ら さ か え あ

に
れ わ が ゐ る さ と わ が ま つ う

ら す こ や か に — さ か え あ れ さん さ — ん
と

は じ め に

旧松浦地区消防組合消防本部（構成市町：松浦市、江迎町、鹿町町）は、平成２２年３月３０日に構成町であった江迎町、鹿町町が市町村合併により組合を脱退したため、消防組合は解散となり、翌３月３１日をもって松浦市単独の「松浦市消防本部」が発足しました。

平成２７年１１月には、消防防災の拠点となる新庁舎が完成し、１２月１７日から業務を開始しております。

この消防年報は、松浦市消防本部の現勢と消防に関する各種資料を収録したもので、消防防災行政を広く紹介するとともに、将来の参考に資することを目的として編集したものです。

なお、この年報の統計中、現況など当該表に年月日を記載したものを除き、暦年で表示しております。

平成２９年８月

松浦市消防本部

目 次

消防本部の情勢

1. 松浦市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 歴代の役職者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
3. 管内・署所配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
4. 管内市町別人口推移状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
5. 沿革と年別概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～15
6. 消防本部の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

総 務

1. 消防本部の課別事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・ 17～18
2. 階級別職員数及び年度別任用状況・・・・・・・・・・ 19
3. 階級別職員配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
4. 階級別職員年齢表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
5. 職員の在職年数状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
6. 職員の研修状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
7. 職員の特殊技能資格取得状況・・・・・・・・・・・・ 24

予 防

1. 防火対象物現況表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2. 予防査察実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
3. 中高層(4階以上)建築物棟数状況・・・・・・・・・・ 27
4. 建築同意事務の累年比較・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
5. 平成28年中の用途別建築同意件数・・・・・・・・・・ 28
6. 平成28年中の月別工事別建築同意件数・・・・・・・・ 29
7. 平成28年中の月別署所別建築同意件数・・・・・・・・ 29

8. 署所別危険物施設数	30
9. 年度別危険物施設状況	30
10. 数量別危険物施設数	31
11. 平成28年中の製造所等に対する立入検査状況	32
12. 平成28年中の危険物関係許認可・届出件数	33
13. 平成28年中の火災予防条例等に基づく届出件数	34
14. 平成28年中高齢者宅予防査察実施状況	35
15. 婦人防火クラブ・少年消防クラブ結成状況	35
16. 幼年消防クラブ結成状況	36
17. 平成28年中の広報活動状況	37

警 防

1. 火 災

(1) 火災種別別出場状況及び損害額	38
(2) 署所別出動状況	38
(3) 町別出場状況	38
(4) 原因別発生状況	39
(5) 平成28年中月別発生状況	40
(6) 平成28年中時間帯別発生状況	41

2. 救 急

(1) 年別出場件数	42
(2) 事故種別・年別出場件数	42
(3) 町別年別出場件数	42
(4) 平成28年中の時間帯別・曜日別出場件数	43
(5) 程度別・事故種別別搬送人員	44
(6) 救急隊員の行った応急処置件数	45
(7) 現場到着所要時間帯別出場件数	45

(8) 救急隊員資格取得状況	4 5
--------------------------	-----

3. 救 助

(1) 救助器具の保有状況	4 6
-------------------------	-----

(2) 隊員の訓練実施状況	4 7
-------------------------	-----

(3) 事故種別出場状況	4 7
------------------------	-----

4. 無 線

(1) 消防無線通信系統図	4 8
-------------------------	-----

(2) 消防無線一覧表	4 9
-----------------------	-----

5. 消防用機械一覧表	5 0
-----------------------	-----

6. 消防水利の状況	5 1
----------------------	-----

消 防 団

1. 消防団階級別人員一覧表	5 2
--------------------------	-----

2. 消防団機械配置状況	5 2
------------------------	-----

3. 団員の勤続年数別人員	5 2
-------------------------	-----

4. 団員の年齢別人員	5 2
-----------------------	-----

消防本部の情勢

1 松浦市の概要

(1) 位置及び地勢

松浦市は、長崎県本土の北東端に位置し、北は伊万里湾に面して、他の三方は佐世保市、平戸市、佐賀県伊万里市、唐津市と接している。山地が多く海岸線は入り組んでおり、一部は玄海国定公園、北松県立公園となっている。古代から朝鮮半島や中国大陸に近いという地理的条件もあり、日本と大陸を結ぶ重要な拠点となっていた。中世には、元寇の折に活躍した「松浦党」が登場するが、その発祥の地としても知られている。

平成24年には元寇船が発見された「鷹島神崎遺跡」が海底遺跡としては、日本初となる国史跡に指定されるなど、歴史と浪漫に溢れ、山の緑と美しい海に囲まれた自然豊かなまちである。

(2) 気候、産業

海洋性で気候が温暖なため、農林水産業の振興が推進されている。果樹の栽培や県下有数の魚介類の養殖地でトラフグ生産、アジ・サバの水揚げ量は日本有数を誇る。

また、観光産業においては、豊かな自然を生かした体験型修学旅行の受け入れや新鮮な食材を生かしたグルメ観光で、各地より多くの観光客が訪れている。

一方鉱工業では、石炭産業が管内の基幹産業として隆盛をきわめていたが、産業構造の大きな変化とともに転換を図ることとなった。

その後、石炭産業にかわる地域振興対策として道路網の整備と工業団地の造成により積極的な企業誘致が行われ、臨海部には資源エネルギー産業、造船関連鉄工業、大型製氷並びに繊維工場等が立地し、現在順調な操業を続けている。特に資源エネルギー産業は、火力発電の増設工事が進められており、豊かで活力のあるまちづくりをめざして、その基礎づくりが着々とすすめられている。

(3) 面積、人口

平成29年4月1日現在

面 積 (k m ²)	人 口 (人)			世 帯 数 (世帯)
	男	女	合 計	
130.55	11,340	12,226	23,566	10,239

2 歴代の役職者

(1) 歴代管理者（旧松浦地区消防組合）

代	氏 名	就任年月	退任年月
初 代	宮 原 一 夫	昭和47年 4月	昭和54年 2月
二 代	岩 佐 晃 典	昭和54年 6月	平成 2年12月
三 代	山 口 洋 平	平成 3年 2月	平成11年 1月
四 代	吉 山 康 幸	平成11年 2月	平成17年12月
五 代	友 広 郁 洋	平成18年 2月	平成22年3月30日

(2) 歴代副管理者（旧松浦地区消防組合）

代	氏 名	就任年月	退任年月
初 代	梶 川 財 基	昭和47年 4月	昭和57年 4月
二 代	宮 本 梅 治	昭和57年 6月	昭和58年 4月
三 代	稲 澤 憲 二	昭和58年 7月	平成10年 4月
四 代	小 村 省 二	平成10年 5月	平成13年 6月
五 代	松 田 弘 明	平成13年12月	平成17年10月
六 代	宮 田 安 猶	平成17年11月	平成22年3月30日

(3) 歴代収入役（旧松浦地区消防組合）

代	氏 名	就任年月	退任年月
初 代	平 田 伊 平	昭和47年 4月	昭和52年 6月
二 代	石 黒 勇	昭和53年 3月	昭和57年 3月
三 代	松 瀬 輝 治	昭和57年 6月	平成 6年 4月
四 代	大川内 良	平成 6年 5月	平成14年 4月
五 代	高 尾 誠	平成14年 6月	平成17年12月

※ 市町村合併に伴い、平成22年3月30日をもって「松浦地区消防組合」は解散

※ 平成22年3月31日から、松浦市単独の「松浦市消防本部」が発足

(4) 歴代議長（旧松浦地区消防組合）

代	氏 名	就任年月	退任年月
初 代	松 原 勝	昭和47年 4月	昭和50年 3月
二 代	山 崎 末 雄	昭和50年 8月	昭和54年 3月
三 代	松 原 勝	昭和54年 3月	昭和62年 3月
四 代	椎 山 勝	昭和62年 6月	平成 7年 4月
五 代	荒 木 隆	平成 7年 6月	平成11年 4月
六 代	鮎 川 學	平成11年 6月	平成17年 9月
七 代	三 浦 潔	平成17年11月	平成22年3月30日

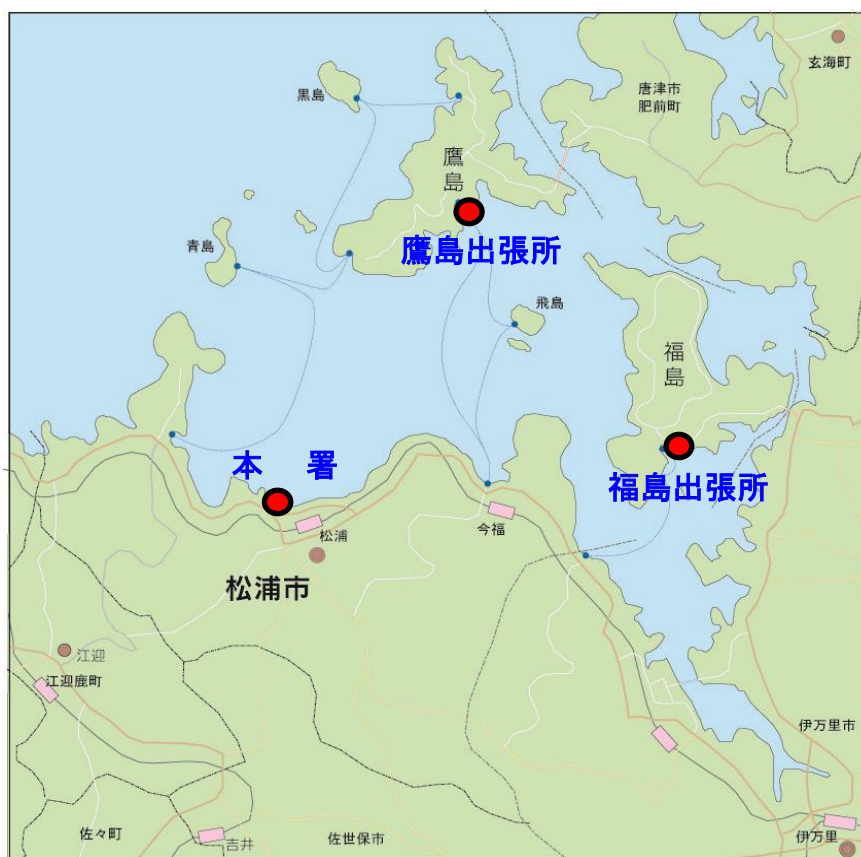
(5) 歴代消防長（旧松浦地区消防組合）

代	氏 名	就任年月	退任年月
初 代	田 中 六 郎	昭和47年 4月	昭和47年10月
二 代	西 小太郎	昭和48年 4月	昭和52年 9月
三 代	武 部 好 宜	昭和52年10月	昭和59年 3月
四 代	久保川 芳 幸	昭和59年 4月	昭和62年 3月
五 代	浦 政 見	昭和62年 7月	昭和62年12月
六 代	松 原 敏 之	昭和63年 1月	平成 3年 3月
七 代	星 野 正 男	平成 3年 4月	平成 6年 3月
八 代	原 崎 康 男	平成 6年 4月	平成 9年 3月
九 代	網 本 利 光	平成 9年 4月	平成11年 3月
十 代	三 木 健 治	平成11年 4月	平成13年 3月
十一代	友 廣 喜 重	平成13年 4月	平成18年 3月
十二代	林 田 博 光	平成18年 4月	平成19年 3月
十三代	末 永 悦 二	平成19年 4月	平成22年3月30日

(6) 歴代消防長（松浦市消防本部）

代	氏 名	就任年月	退任年月
初 代	末 永 悦 二	平成22年3月31日	平成23年3月31日
二 代	諸 石 俊 英	平成23年4月 1日	平成26年3月31日
三 代	前 田 英 彦	平成26年4月 1日	平成29年3月31日
四 代	石 井 英 治	平成29年4月 1日	

3 管内・署所配置図



消防本部・消防署(本署)

〒859-4507
長崎県松浦市志佐町庄野免268番地3
TEL 0956-72-1211
FAX 0956-72-1210



福島出張所

〒848-0403
長崎県松浦市福島町塩浜免2993番地87
TEL・FAX 0955-47-2119



鷹島出張所

〒859-4305
長崎県松浦市鷹島町中通免309番地3
TEL・FAX 0955-48-2119



4 管内市町別人口推移状況

(4月1日現在)

年	管内人口	松浦市	鷹島町	福島町	江迎町	鹿町町	田平町		
S30	94,151	41,113	5,627	伊万里市消防本部管轄	18,032	18,507	10,872		
50	51,941	24,978	4,141		7,601	6,300	8,921		
60	50,684	24,804	3,824		7,205	6,337	8,514		
H10	46,732	23,223	3,023		6,605	5,876	8,005		
18	43,398	24,241	市町合併で松浦市へ			6,059	5,515	7,583	
19	35,111	23,793				5,928	5,390	平戸市消防本部管轄へ	
20	38,087	26,636				6,086	5,365		
21	37,520	26,255				5,994	5,271		
22	25,836	25,836				佐世保市消防局管轄へ			
23	25,544	25,544							
24	25,296	25,296							
25	24,896	24,896							
26	24,581	24,581							
27	24,259	24,259							
28	23,911	23,911							
29	23,566	23,566							

※ 平成18年1月1日に松浦市、鷹島町及び福島町が合併して松浦市となる。

※ 旧福島町は合併後の平成20年3月31日まで伊万里市へ委託。平成20年4月1日から松浦地区消防組合の管轄となる。

※ 平成22年3月31日から、松浦市単独消防となる。

5 沿革と年別概況

年	月	事 項
昭和46年	2月	「県境を越えて伸びゆく生活圏」をキャッチフレーズとして北松伊万里湾地域広域市町村圏協議会設立総会発足
	6月	昭和46年政令第170号により松浦市は昭和49年3月31日を限度として消防本部、署の設置義務を受ける
	6月	伊万里、北松地域広域市町村圏と名称を変更
	7月	広域市町村圏の正式指定を受ける
	10月	広域消防会議開催
	10月	広域消防松浦ブロック会開催
	11月	幹事会開催
	11月	広域圏合同作業実施
	12月	幹事会開催
		総会対策、一部事務組合移行への準備打合せ
昭和47年	1月	幹事並びに消防事務担当者会開催
	4月	松浦地区消防組合設立
		事務局を松浦市総務課におく
		常備消防として事務処理計画がなされ、昭和47年自治省告示第106号により、田平町、江迎町、鹿町町、鷹島村が指定を受けたことに伴い、松浦市を中心とする広域消防施設整備事業に着手
	4月	松浦地区消防組合設立会議開会
	4月	組合管理者に松浦市長 宮原一夫を選任
	4月	初代消防長に松浦市助役 田中六郎 就任
	7月	松浦市長選挙の執行に伴い管理者辞任、副管理者田平町長梶川財基管理者職務代理者となる
	9月	消防組合議会臨時会開会
		組合管理者に松浦市長 宮原一夫を再選
	10月	松浦市助役田中六郎の消防長兼務を解く
	10月	消防組合事務局長に西小太郎 就任
	11月	消防職員12名採用 県消防学校初任科入校（第13期12名）
昭和48年	3月	第1回消防組合議会定例会開会
	3月	消防署及び江迎・鹿町出張所の庁舎完成 (敷地は、市、町有地無償貸与)
	3月	消防ポンプ自動車2台購入
	4月	松浦地区消防組合消防本部、消防署開庁 業務開始（本署、出張所）
	4月	第2代消防長兼署長 西小太郎 就任

年	月	事 項
昭和48年	4月	消防職員37名採用 県消防学校初任科入校（第14期22名）
	4月	消防組合議会臨時会開会
	4月	救急自動車2台購入
	5月	指令車2台購入
	7月	第2回消防組合議会定例会開会
	8月	県消防学校初任科入校（第15期15名）
	8月	救急自動車1台寄贈を受ける（農協中央会）
	9月	防火管理者講習会開催（第1回）
	12月	鷹島分駐所の庁舎完成、開庁 業務開始 （敷地は村有地無償貸与）
	12月	消防ポンプ自動車2台購入
昭和49年	3月	消防無線（しょうぼうまつうら）開局
	3月	田平分駐所の庁舎完成、開庁 業務開始 （敷地は町有地無償貸与）
	3月	救急自動車1台寄贈を受ける（日本損害保険協会）
	4月	消防署開庁一周年記念行事実施
	4月	松浦地区危険物安全協会設立 事務局を消防署に置く
	6月	小型消防ポンプ（C型）2台購入
	7月	管内市町村消防団、消防署の連絡協議会発足
	8月	消防職員5名採用
	10月	広報車1台購入
	10月	消防署にラッパ隊編成（8名）
	10月	水槽付消防ポンプ自動車購入
	12月	長崎県人事委員会へ公平委員会の事務委託
昭和50年	1月	鷹島村の町制施行
	1月	小型消防ポンプ（C型）2台購入
	4月	県消防学校初任科入校（第20期5名）
	5月	県総合防災訓練江迎町で実施
	6月	工作車1台購入
	10月	「くらしの防火展」開催
昭和51年	4月	消防職員2名採用 県消防学校初任科入校（第21期2名）
	4月	県下消防本部相互応援協定の締結
	8月	消防組合議会臨時会開会
	8月	組合管理者に宮原一夫を再選
	9月	江迎・鹿町出張所の分所を鹿町町に開設
	9月	救急自動車1台寄贈を受ける（日本船舶振興会）

年	月	事	項
昭和51年	11月	消防組合議会全員協議会開催	
昭和52年	1月	北松地域救急医療対策協議会発足	
	4月	消防職員3名採用 県消防学校初任科入校（第22期3名）	
	7月	田平町、鹿町町管内無線不感地帯にそれぞれ固定局開局	
	8月	広報車1台購入	
	10月	消防長兼署長 西 小太郎 退任	
	10月	第3代消防長兼署長 武部好宜 就任	
	12月	救急指令装置（B型）設置	
	12月	救助訓練棟完成	
昭和53年	1月	救助隊編成（11名）	
	3月	救急自動車1台寄贈を受ける（日本損害保険協会）	
	3月	小型動力ポンプ（B型）1台購入	
	4月	消防署開庁5周年記念行事実施	
	9月	機関誌「消防まっくら」創刊号発行	
昭和54年	2月	組合管理者松浦市長 宮原一夫が退任	
	2月	副管理者田平町長 梶川財基が管理者職務代理となる	
	3月	指令車1台購入	
	4月	消防職員5名採用 県消防学校初任科入校（第24期5名）	
	6月	組合管理者に松浦市長 岩佐晃典を選任	
	7月	救助訓練用資機材格納庫完成	
昭和55年	1月	救急医療情報システム始動	
	8月	調査会研修 島根県松江地区消防本部視察（救急艇の件）	
	10月	水槽付消防ポンプ自動車1台購入	
	11月	松浦地区少年婦人防火委員会設立	
	11月	消防組合議会全員協議会開催	
昭和56年	1月	鷹島汽船との救急搬送委託契約締結	
	2月	鷹島分駐所車庫落成	
	3月	消防年報創刊号発行	
	3月	広報車1台購入	
	4月	伊万里市との相互応援協定調印式	
	7月	松浦市医師会による救急講座開講	
	10月	防火広報車寄贈を受ける（日本防火協会）	
	12月	救急講座開講並びに修了証授与式	
昭和57年	1月	今福無線基地設置	
	2月	組合議員研修（高砂火力発電所）	
	4月	調査会研修（竹原火力発電所）	
昭和58年	4月	消防職員3名採用 消防学校初任科入校（第28期3名）	

年	月	事 項
昭和 5 8 年	6 月	組合管理者に松浦市長 岩佐晃典を再選
昭和 5 9 年	1 月	江迎・鹿町出張所、鷹島分駐所無線基地設置
	2 月	調査会研修（鹿児島県日石原油基地）
	3 月	消防長兼署長 武部好宜 退任
	4 月	第 4 代消防長兼署長 久保川芳幸 就任
	5 月	調査会研修（久留米市）
昭和 6 0 年	3 月	消防本部の機構改革 総務課及び消防課を設置する
	4 月	消防職員 1 名採用 県消防学校初任科入校（第 3 0 期 1 名）
	9 月	救急車寄贈式（山之内製薬株式会社）
	1 0 月	江迎・鹿町出張所水槽付消防ポンプ自動車更新
	1 1 月	消防展開催
昭和 6 1 年	1 2 月	田平出張所水槽付ポンプ自動車更新
昭和 6 2 年	3 月	消防長 久保川芳幸 退任
	6 月	組合管理者に岩佐晃典を再選
	7 月	第 5 代消防長 浦 政見 就任
	1 0 月	全国婦人消防操法大会出場
	1 2 月	消防長 浦 政見 退任
昭和 6 3 年	1 月	第 6 代消防長 松原敏之 就任
	3 月	自治体消防 4 0 周年記念式典
平成元年	3 月	消防庁長官表彰竿頭授受賞（江迎町消防団と同時受賞）
	4 月	消防職員 1 名採用 県消防学校初任科入校（第 3 4 期 1 名）
	1 0 月	江迎町消防団結団 3 0 周年記念式典
平成 2 年	5 月	消防組合議会臨時会
	8 月	管内助役会議
	1 2 月	組合管理者松浦市長 岩佐晃典が退任
	1 2 月	副管理者田平町長 稲沢憲二が管理者職務代理となる
平成 3 年	2 月	組合管理者に松浦市長 山口洋平を選任
	3 月	調査会研修（岐阜県郡上郡）
	3 月	消防長 松原敏之 退任
	4 月	第 7 代消防長 星野正男 就任
	4 月	消防職員 1 名採用 県消防学校初任科入校（第 3 6 期 1 名）
	8 月	調査会研修（久留米市）
	1 1 月	消防職員 1 名採用
	1 1 月	長崎県婦人幼少年防火の集い開催（鹿町町）
平成 4 年	4 月	県消防学校初任科入校（第 3 7 期 1 名）
	5 月	長崎県総合防災訓練（松浦市今福町）
	1 1 月	伊万里湾海上防災訓練

年	月	事 項
平成 5 年	1 月	救急車 1 台寄贈を受ける（日本自動車工業会）
	3 月	指令車及び資機材搬送車購入
	4 月	消防職員 5 名採用 県消防学校初任科入校（第 38 期 2 名）
	4 月	県消防長会春季総会（松浦市）
	4 月	長崎県消防職員意見発表会（松浦市）
	5 月	松浦地区消防組合業務開始 20 周年記念式典
	9 月	消防組合調査会による通信指令装置先進地視察（福岡県鞍手郡）
平成 6 年	3 月	消防長 星野正男 退任
	4 月	第 8 代消防長 原崎康男 就任
	4 月	消防職員 6 名採用 県消防学校初任科入校（第 39 期 4 名）
	6 月	（財）日本防火協会から広報車寄贈
	7 月	松浦地区危険物安全協会創立 20 周年記念式典
	8 月	水槽付消防ポンプ自動車更新（日本損害保険協会から寄贈）
平成 7 年	2 月	松浦地区消防音楽隊設立
	2 月	組合管理者に松浦市長 山口洋平を再選
	3 月	消防緊急通信指令装置更新
	4 月	消防職員 5 名採用 県消防学校初任科入校（第 40 期 4 名）
	7 月	応急手当指導員認定証交付
	9 月	消防大学校入校（第 58 期予防専科）
	10 月	救急救命九州研修所入所（1 名）
	11 月	消防組合議員研修旅行（秋田）
平成 8 年	1 月	緊急消防援助隊旗の交付を受ける
	1 月	平成 8 年度第 1 回長崎県消防広域化検討委員会会議
	3 月	平成 8 年度第 2 回長崎県消防広域化検討委員会会議
	4 月	消防音楽隊 演奏活動開始
	4 月	消防職員 3 名採用 県消防学校初任科入校（第 41 期 5 名）
	9 月	管内市町長会議（人事交流休止の申し合わせ他）
	10 月	救急救命九州研修所入所（1 名）
	10 月	消防職員委員会制度設立
	11 月	長崎県消防長会警防担当課長会（松浦市）
平成 9 年	1 月	長崎県消防広域化検討委員会（長崎市）
	2 月	消防職員委員会第 1 回会議
	3 月	消防長 原崎康男 退任
	4 月	第 9 代消防長 網本利光 就任
	4 月	消防職員 3 名採用 県消防学校初任科入校（第 42 期 3 名）
	8 月	救急Ⅱ課程修了者病院研修
	9 月	長崎県消防長会予防事務研修会（松浦市）

年	月	事	項
平成 9 年	1 0 月	救急救命九州研修所入所（1 名）	
	1 1 月	長崎県婦人幼少年防火のつどい（松浦市）	
平成 1 0 年	3 月	鷹島出張所水槽付消防ポンプ自動車購入	
	5 月	消防組合議会臨時会	
	1 0 月	救急救命九州研修所入所（1 名）	
	1 0 月	消防大学校入校（第 6 3 期警防科）	
平成 1 1 年	1 月	組合管理者松浦市長 山口洋平が退任	
	1 月	副管理者鹿町町町長 小村省二が職務代理者となる	
	2 月	組合管理者に松浦市長 吉山康幸を選任	
	2 月	本署救急車更新	
	3 月	消防長 網本利光 退任	
	4 月	第 1 0 代消防長 三木健治 就任	
	4 月	消防職員 3 名採用 県消防学校初任科入校（第 4 4 期 3 名）	
	6 月	松浦地区消防組合議会臨時会	
	1 0 月	救助訓練搭起工式	
	1 2 月	Y 2 K 特別警戒	
平成 1 2 年	2 月	救助訓練搭完成	
	4 月	消防職員 1 名採用 県消防学校初任科入校（第 4 5 期 1 名）	
	4 月	消防大学校幹部研修科 入校（1 名）	
	4 月	救急救命九州研修所入所（1 名）	
	5 月	長崎県総合防災訓練（松浦市）	
	9 月	消防大学校上級幹部科入校（1 名）	
	1 1 月	第 1 回応急手当口頭指導技術大会	
	1 1 月	松浦地区消防音楽隊第 2 回ふれあいコンサート（松浦市）	
平成 1 3 年	3 月	高規格救急自動車贈呈式（日本損害保険協会より寄贈）	
	3 月	消防長 三木健治 退任	
	4 月	第 1 1 代消防長 友廣喜重 就任	
	4 月	高規格救急自動車運用開始	
	4 月	消防職員 1 名採用 県消防学校初任科入校（第 4 6 期 1 名）	
	4 月	消防大学校幹部研修科入校（1 名）	
	4 月	救急救命九州研修所入所（1 名）	
	1 1 月	消防組合調査会	
平成 1 4 年	4 月	消防職員 2 名採用 県消防学校初任科入校（第 4 7 期 2 名）	
	4 月	消防大学校幹部科入校（1 名）	
	4 月	救急救命九州研修所入所（1 名）	
	1 0 月	九州地区消防音楽隊フェスティバル参加（佐世保市）	
	1 1 月	行幸啓警備	

年	月	事 項
平成15年	1月	原子力防災訓練（鷹島町）
	2月	組合管理者に松浦市長 吉山康幸を再選
	3月	江迎・鹿町出張所 水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月	救急救命九州研修所入所（2名）
	4月	県消防長会春季総会（松浦市）
	4月	県消防長会消防職員意見発表会（松浦市）
	10月	消防組合設立30周年記念式典
	11月	原子力防災訓練（鷹島町）
	12月	田平出張所 水槽付消防ポンプ自動車更新
平成16年	2月	地域メディカルコントロール協議会（佐世保市）
	3月	県防災ヘリ現地訓練（松浦市）
	3月	鷹島出張所2B型救急自動車更新（山之内製薬株式会社より寄贈）
	4月	救急救命九州研修所入所（2名）
	4月	消防職員6名採用 県消防学校初任科入校（第49期5名）
	4月	消防大学校幹部研修科入校（1名）
	9月	松浦地区危険物安全協会創立30周年記念式典
	11月	原子力防災訓練（鷹島町）
平成17年	2月	AEDトレーナー・搬送車両等贈呈 （松浦ライオンズクラブ・北松ライオンズクラブから寄贈）
	4月	江迎・鹿町出張所に高規格救急車配備・運用開始
	4月	救急救命九州研修所入所（2名）
	4月	県消防学校初任科入校（第50期1名）
	9月	田平町の消防組合脱退（平戸市等と合併のため）
	10月	消防事務受託（平戸市田平町区域の消防事務受託）
	12月	組合管理者松浦市長 吉山康幸が退任
	12月	副管理者鹿町町長 宮田安猶が管理者職務代理となる
平成18年	2月	組合管理者に松浦市長 友広郁洋を選任
	3月	消防長 友廣喜重 退任
	4月	第12代消防長 林田博光 就任
	4月	消防職員3名採用 県消防学校初任科入校（第51期2名）
	9月	救急救命九州研修所入所（2名）
	10月	長崎県石油コンビナート等総合防災訓練（福島町）
	11月	原子力防災訓練（鷹島町）
	11月	第1回長崎県市町消防広域化推進協議会委員会開催
平成19年	1月	第1回長崎県市町消防広域化推進協議会幹事会開催
	3月	消防長 林田博光 退任
	3月	平戸市田平町区域の消防事務受託解除

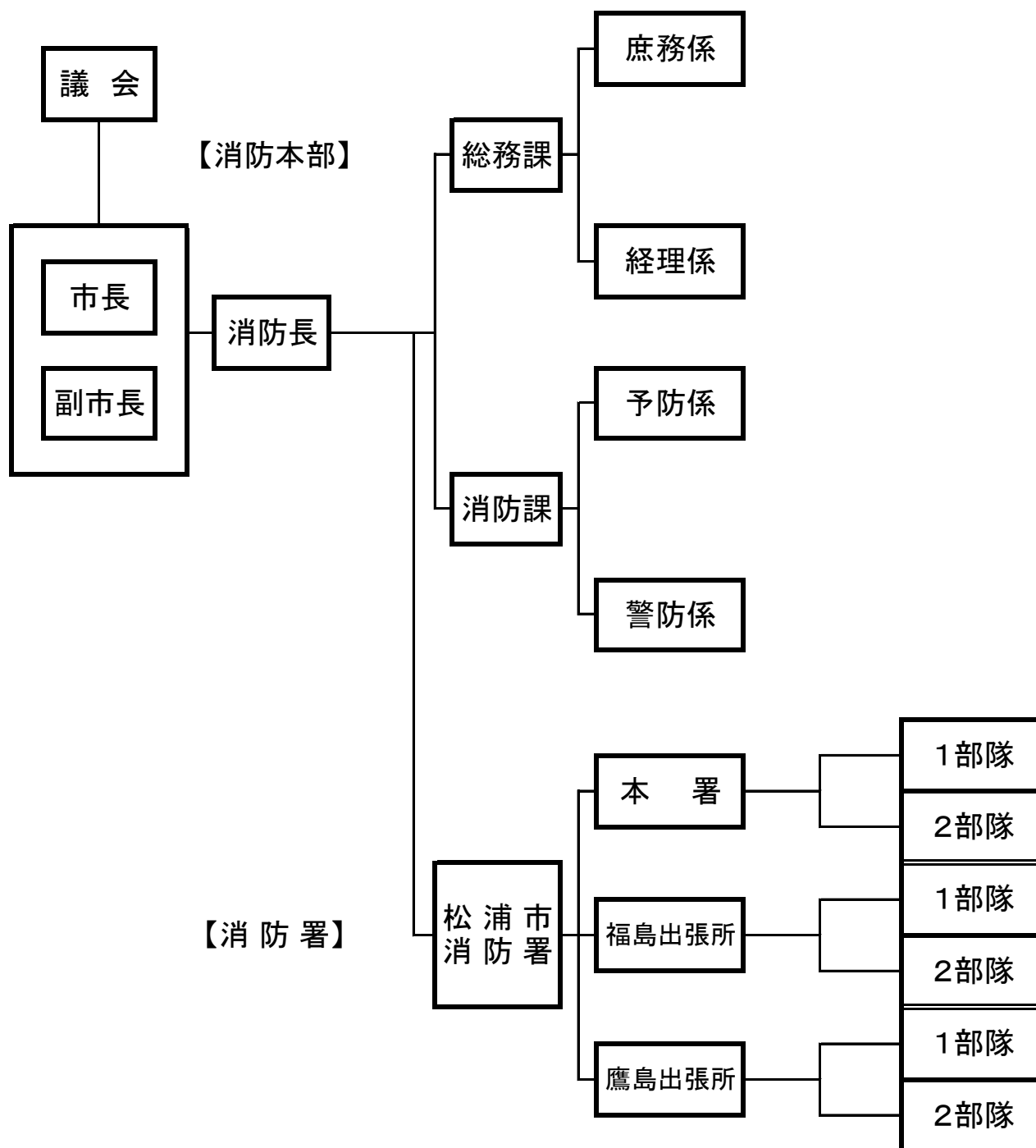
年	月	事 項
平成19年	4月	第13代消防長 末永悦二 就任
	4月	消防職員1名採用 県消防学校初任科入校（第52期1名）
	5月	福岡県消防学校上級幹部科兼新任消防長科入校
	5月	消防大学校新任消防長・学校長科入校（第4期1名）
	9月	消防職員1名採用 県消防学校初任科入校（第53期1名）
	9月	消防長会予防事務研修会（松浦市）
	10月	九州液化瓦斯福島基地(株)防災訓練（福島町）
	11月	原子力防災訓練（鷹島町）
平成20年	3月	本署高規格救急自動車購入
	3月	本署消防ポンプ自動車更新
	4月	消防職員3名採用 県消防学校初任科入校（第54期3名）
	4月	松浦市福島町区域常備消防業務引継式
	9月	消防職員2名採用 県消防学校初任科入校（第55期2名）
	10月	九州液化瓦斯福島基地(株)防災訓練（福島町）
	11月	本署水槽付消防ポンプ自動車更新（災害対応型）
	11月	原子力防災訓練（鷹島町）
	11月	緊急消防援助隊九州地区合同訓練参加9名（佐世保市）
平成21年	3月	唐津市との消防相互応援協定調印式
	3月	応援協定に伴う鷹島肥前大橋多数傷病者発生事故想定訓練
	9月	救急救命九州研修所入所（1名）
	9月	本署広報車更新
	9月	九州液化瓦斯福島基地(株)防災訓練（福島町）
	10月	原子力防災訓練（鷹島町）
	10月	長崎県石油コンビナート等総合防災訓練（福島町）
平成22年	3月	本署救助工作車更新
	3月	江迎町・鹿町町の消防組合脱退（佐世保市との合併のため）
	3月	松浦地区消防組合の解散
	3月	松浦市単独による松浦市消防本部開庁
	3月	初代松浦市消防本部消防長 末永悦二 就任
	6月	消防大学校幹部科入校（1名）
	9月	消防職員2名採用 県消防学校初任科入校（第59期2名）
	9月	救急救命九州研修所入所（1名）
	11月	原子力防災訓練（鷹島町）
平成23年	3月	県防災ヘリ合同訓練（松浦市）
	3月	東日本大震災へ緊急消防援助隊派遣（3名）
	3月	消防長 末永悦二 退任
	4月	第2代消防長 諸石俊英 就任

年	月	事 項
平成 23 年	4 月	消防職員 3 名採用 県消防学校初任科入校（第 60 期 3 名）
	5 月	消防大学校新任消防長・学校長科入校（第 11 期 1 名）
	7 月	消防職員 1 名採用
	9 月	県消防学校初任科入校（第 61 期 1 名）
	9 月	救急救命九州研修所入所（1 名）
	10 月	九州液化瓦斯福島基地(株)防災訓練（福島町）
	11 月	原子力防災訓練（鷹島町）
平成 24 年	3 月	多数傷病者想定訓練（電源開発と合同訓練）
	4 月	消防職員 3 名採用 県消防学校初任科入校（第 62 期 2 名）
	4 月	長崎県防災航空隊派遣（1 名）
	5 月	消防大学校火災調査科入校（第 23 期 1 名）
	7 月	消防職員 1 名採用
	9 月	県消防学校初任科入校（第 63 期 2 名）
	9 月	救急救命九州研修所入所（1 名）
	10 月	長崎県石油コンビナート等総合防災訓練（福島町）
平成 25 年	10 月	消防大学校警防科入校（第 92 期 1 名）
	2 月	原子力防災訓練
	3 月	消防大学校新任教官科入校（第 6 期 1 名）
	4 月	消防職員 3 名採用 県消防学校初任科入校（第 64 期 2 名）
	4 月	県消防長会春季総会（松浦市）
	4 月	県消防長会消防職員意見発表会（松浦市）
	4 月	長崎県消防学校派遣（1 名）
	5 月	第 17 回全国消防長会警防防災委員会出席（徳島県徳島市）
	9 月	県消防学校初任科入校（第 65 期 1 名）
	11 月	原子力防災訓練
平成 26 年	11 月	第 18 回全国消防長会警防防災委員会出席（北海道上川郡上川町）
	3 月	福島出張所消防ポンプ自動車更新 （石油貯蔵施設立地対策交付金事業）
	3 月	消防長 諸石俊英 退任
	4 月	第 3 代消防長 前田英彦 就任
	4 月	消防職員 5 名採用 県消防学校初任科入校（第 66 期 3 名）
	4 月	消防大学校新任消防長・学校長科入校（第 16 期 1 名）
	4 月	消防大学校救助科入校（第 69 期 1 名）
	5 月	救急救命九州研修所入所（1 名）
	5 月	第 19 回全国消防長会警防防災委員会出席（兵庫県加古川市）
	5 月	松浦市危険物安全協会設立 40 周年記念式典
	6 月	危険物安全週間に伴う想定訓練（九州電力松浦発電所と合同訓練）

年	月	事 項
平成 26 年	9 月	県消防学校初任科入校（第 67 期 2 名）
	9 月	救急救命九州研修所入所（1 名）
	10 月	第 20 回全国消防長会警防防災委員会出席（三重県鈴鹿市）
	11 月	消防本部新庁舎起工式
平成 27 年	1 月	原子力防災訓練
	3 月	福島出張所高規格救急自動車更新 （石油貯蔵施設立地対策交付金事業）
	3 月	鷹島出張所水槽付消防ポンプ自動車更新 （緊急消防援助隊施設整備費補助金事業）
	4 月	消防職員 4 名採用 消防学校初任科入校（第 68 期 2 名）
	6 月	消防大学校幹部科入校（第 41 期 1 名）
	8 月	消防大学校予防科入校（第 98 期 1 名） 県消防長会消防署長会議（松浦市）
	9 月	救急救命九州研修所入所（1 名） 県消防学校初任科入校（第 69 期 2 名）
	11 月	原子力防災訓練 消防本部・署新庁舎竣工
	12 月	消防本部・署新庁舎移転・業務開始 新通信指令システム運用開始 消防・救急デジタル無線試験運用 消防本部・署新庁舎落成式
平成 28 年	2 月	消防・救急デジタル無線運用開始
	3 月	鷹島出張所高規格救急自動車更新 （緊急消防援助隊施設整備費補助金事業）
	4 月	消防職員 4 名採用 県消防学校初任科入校（第 70 期 2 名） 平成 28 年熊本地震へ緊急消防援助隊派遣（20 名）
	6 月	消防大学校火災調査科入校（第 31 期 1 名）
	9 月	救急救命九州研修所入所（1 名） 県消防学校初任科入校（第 71 期 2 名）
	10 月	原子力防災訓練
	11 月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 10 名（雲仙市，島原市）
平成 29 年	3 月	消防長 前田英彦 退任（市長部局へ異動）

6 消防本部の組織

(平成29年4月1日現在)



総

務

1 消防本部の課別事務分掌

総務課

総務課の所掌事務は、おおむね次のとおりとする。

庶務係

- (1) 消防本部の庶務に関すること
- (2) 消防に係わる総合企画に関すること
- (3) 公印の管理に関すること
- (4) 文書の收受及び送達に関すること
- (5) 条例、規則の制定、改廃及びその他の重要文書の審査に関すること
- (6) 儀式、行事及び会議に関すること
- (7) 表彰に関すること
- (8) 消防統計及び広報に関すること
- (9) 任免、分限、懲戒、その他身分に関すること
- (10) 職員の採用試験に関すること
- (11) 職員の福利厚生に関すること
- (12) 職員の公務災害及び賞じゅつ金に関すること
- (13) 職員の研修派遣に関すること
- (14) 職員の身分保証及び賠償に関すること
- (15) 消防本部の他の課の所掌に属さない事項に関すること

経理係

- (1) 庁舎保全及び財産管理に関すること
- (2) 予算及び決算に関すること
- (3) 物品の購入、出納、保管及び修理に関すること
- (4) その他経理事務に関すること

消防課

消防課の所掌事務は、おおむね次のとおりとする。

予防係

- (1) 予防業務についての企画立案に関すること
- (2) 防火対象物の指導取締りに関すること
- (3) 防火管理者の講習及び指導育成に関すること
- (4) 建築同意事務に関すること

- (5) 防火思想の普及広報に関する事
- (6) 危険物製造所等の許可、認可及び指導取締りに関する事
- (7) 危険物取扱者の指導育成に関する事
- (8) 液化石油ガス販売事業に係る意見等に関する事
- (9) 法令等に基づく火災予防関係各種届出に関する事
- (10) 幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブ及び民間防火組織の指導育成に関する事
- (11) 松浦市幼少年婦人防火委員会に関する事
- (12) 松浦市危険物安全協会に関する事
- (13) その他予防事務に関する事

警防係

- (1) 統括的な警防計画及び大規模な訓練に関する事
- (2) 消防業務に係る地理及び水利に関する事
- (3) 火災、その他災害の原因及び損害の調査の指導、統括に関する事
- (4) り災証明の発行に関する事
- (5) 火災、救急等の統計及び報告に関する事
- (6) 通信指令施設その他消防用通信の運用管理に関する事
- (7) 消防技術の研究指導に関する事
- (8) 消防相互応援協定に関する事
- (9) 救急業務の総括的運用に関する事
- (10) 応急手当の普及啓発に関する事
- (11) 救助業務の総括的運用に関する事
- (12) 非常災害時の対策に関する事
- (13) 消防警戒区域の立入証票に関する事
- (14) 車両その他消防機器の総合的管理に関する事
- (15) 消防機器の改良考案に関する事
- (16) 松浦市火災予防条例第76条に規定する届出に関する事
- (17) 非常備消防との連絡調整に関する事
- (18) 火災及び非常災害時における本部と署の連絡調整に関する事
- (19) 消防署の事務の連絡調整に関する事
- (20) その他警防事務に関する事

2 階級別職員数及び年度別任用状況

平成29年4月1日現在

階級 区分		計	事務吏員	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士
定 員		70		階級別定数なし					
実 員		66	0	1	7	18	11	2	27
年度 区分		24年	25年	26年	27年	28年	29年		
定 員		70	70	70	70	70	70		
実 員 (年度当初)		67	67	68	67	65	66		
採 用		4	3	5	4	4	2		
他の 部局	転入			1					
	転出	1					1		
退 職		3	5	5	6	0			
備		平成24年4月 1日付 3名採用	平成25年4月 1日付 3名採用	平成26年4月 1日付 5名採用 市長部局から 1名転入	平成27年4月 1日付 4名採用	平成28年4月 1日付 4名採用	平成29年4月 1日付 2名採用		
考		平成24年7月 1日付 1名採用	平成25年11 月30日付 依願退職 1 名	平成27年3月 31日付 定年退職 5 名	平成27年12 月31日付 依願退職 1 名		平成29年4月 1日付 市長部局へ 1名転出		
		平成25年3月 31日付 定年退職 3 名 市長部局へ 1名転出	平成26年3月 31日付 定年退職 3 名 依願退職 1 名		平成28年3月 31日付 定年退職 5 名				

3 階級別職員配置状況

平成29年4月1日現在

所 属		消 防 吏 員						事務職員	計
		消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士		
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	総 務 課		2	4			2		8
	消 防 課		2	6					8
	小 計	1	5	10			2		18
消 防 署	署 長		1						1
	副 署 長		2						2
	本 署			4	7	1	18		30
	福島出張所			2	2		4		8
	鷹島出張所			2	2	1	3		8
	小 計		2	8	11	2	25		48
合 計		1	7	18	11	2	27		66

4 階級別職員年齢表

平成29年4月1日現在

階級 年齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
18歳							0
19歳							0
20歳						4	4
21歳						4	4
22歳							0
23歳						4	4
24歳						5	5
25歳							0
26歳						4	4
27歳						1	1
28歳						2	2
29歳				2	1	2	5
30歳							0
31歳				1	1	1	3
32歳				1			1
33歳				1			1
34歳			1	2			3
35歳			1	1			2
36歳							0
37歳							0
38歳			1				1
39歳			1				1
40歳			1	2			3
41歳			4				4
42歳			4				4
43歳			1				1
44歳			3				3
45歳							0
46歳				1			1
47歳							0
48歳							0
49歳							0
50歳			1				1
51歳							0
52歳							0
53歳		1					1
54歳							0
55歳							0
56歳		3					3
57歳							0
58歳	1	2					3
59歳		1					1
60歳							0
計	1	7	18	11	2	27	66
平均年齢							34.7

5 職員の在職年数状況

平成29年4月1日現在

階級 区分	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
1年未満						2	2
2 "						4	4
3 "						4	4
4 "						4	4
5 "						3	3
6 "					1	3	4
7 "						5	5
8 "							0
9 "					1		1
10 "				1		2	3
11 "				1			1
12 "			1	1			2
13 "							0
14 "				4			4
15 "							0
16 "			2				2
17 "				1			1
18 "				1			1
19 "							0
20 "							0
21 "							0
22 "			2				2
23 "			2	1			3
24 "			5				5
25 "			3				3
25年以上	1	7	3	1			12
計	1	7	18	11	2	27	66

6 職員の研修状況

平成29年3月31日現在

区 分 \ 年 度		23年度 以前	24	25	26	27	28	合計
延 人 員		504	21	18	19	20	24	606
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科	1						1
	幹 部 研 修 科	6				1		7
	予 防 専 科	1				1		2
	警 防 専 科	1	1					2
	救 急 専 科							0
	救 助 専 科	1			1			2
	火 災 調 査 専 科	1	1				1	3
	新 任 教 官 専 科		1					1
	緊急消防援助隊教育科 NBCコース				1			1
長 崎 県 消 防 大 学 校	初 任 科	81	4	3	5	4	4	101
	上 級 幹 部 科	2		2				4
	中 級 幹 部 科	6						6
	初 級 幹 部 科	56	1	2	2	2	2	65
	予 防 専 科	26						26
	特 殊 災 害 科	6		1		1		8
	救 急 I 課 程	40						40
	救 急 II 課 程	54						54
	救 急 (標 準) 課 程	38	3	2	4	4	4	55
	操 法 指 導 員 課 程	44	2		2		4	52
	危 険 物 課 程	13		1		1		15
	救 助 課 程	33	1		1		1	36
	予 防 査 察 課 程	10	1		1		1	13
	火 災 調 査 課 程	27		2	1	1	1	32
	応急手当指導員講習 I	23						23
	救急救命士追加講習					4	4	8
救急救命士(新規)		20	1		1	1	1	24
(気管挿管・薬剤投与)		14	5	5			1	25

7 職員の特殊技能資格取得状況

平成29年4月1日現在

階 級 特殊技能資格				消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計	
自動車 運転 免許	二種	大型普通	型	0	0	0	0	0	0	0	
		大型普通	通	0	0	0	0	0	0	0	
	一種	大型特殊	型	0	1	2	0	0	0	3	
		大型普通	型	1	5	18	4	1	2	31	
		中型普通	型	0	0	0	6	1	15	22	
		中型（8t限定）普通	型	1	7	18	11	2	5	44	
		自動二輪	通	0	0	0	0	0	22	22	
	けん引（一種）	輪	0	1	10	6	1	6	24		
			0	0	1	0	0	0	1		
総合無線通信士			0	0	0	0	0	0	0		
特殊無線技士			1	5	18	11	2	22	59		
危険物 取扱 者	甲種			0	0	0	0	0	0	0	
	乙種	第1類			0	0	3	1	0	1	5
		第2類			0	0	3	0	0	1	4
		第3類			0	0	3	4	0	1	8
		第4類			1	6	9	9	0	8	33
		第5類			0	0	3	4	0	0	7
		第6類			0	0	3	3	0	2	8
	丙種			0	2	4	0	0	0	6	
消防 設備 士	甲種	第1類			0	0	0	0	0	0	0
		第2類			0	0	0	0	0	0	0
		第3類			0	0	0	0	0	0	0
		第4類			1	2	0	0	0	0	3
		第5類			0	1	0	0	0	0	1
	乙種	第1類			0	0	0	0	0	0	0
		第2類			0	0	0	0	0	0	0
		第3類			0	0	0	0	0	0	0
		第4類			0	2	2	0	0	0	4
		第5類			0	0	1	0	0	0	1
		第6類			1	3	2	1	0	1	8
		第7類			0	1	0	0	0	0	1
	予防技術資格者		防火査察専門員		0	1	8	4	0	0	13
			消防用設備等専門員		0	1	1	0	0	0	2
危険物専門員			0	0	4	1	0	1	6		
救急救命士			0	2	11	6	1	2	22		
自動車整備士			0	0	0	0	0	0	0		
第一種電気工事士			0	1	0	0	0	0	1		
アセチレンガス溶接			0	0	1	0	0	1	2		
小型移動式クレーン			1	4	17	10	1	1	34		
玉掛			1	4	17	10	1	2	35		
車両系建設機械（大型）			0	0	0	3	1	1	5		
小型船舶操縦士			0	1	3	1	0	2	7		
アマチュア無線技師			0	2	1	0	0	0	3		
特定化学物質等作業主任者			0	2	6	2	0	0	10		
潜水士			0	1	3	4	0	1	9		
酸欠・硫化水素危険作業主任者			0	0	2	0	0	1	3		
巻き上げ機			0	0	3	0	0	0	3		
防災士			1	1	0	0	0	0	2		
MCLS インストラクター			0	0	1	0	0	0	1		
JPTEC インストラクター			0	0	3	0	0	0	3		
AHA BLSヘルスケアプロバイダー			0	0	0	1	0	0	1		
水難学会着衣泳指導員			0	0	2	0	0	0	2		
赤十字水上安全救助員Ⅰ			0	0	1	0	0	0	1		

予

防

1 防火対象物現況表

平成29年3月31日現在

単位：棟

防火対象物			消防用設備 を必要とする 対象物	防火管理者		有資格者による点検が 必要な対象物
区 分				必要な 対象物	届出済 対象物	
合 計			718	216	212	166
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1	1	
	ロ	公会堂、集会場	6	6	6	3
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ				
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	5	5	2
	ハ	風俗営業等				
	ニ	カラオケボックス等				
3	イ	待合、料理店	4	3	3	
	ロ	飲食店	9	7	7	
4		百貨店、マーケット	29	22	22	3
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	25	13	13	4
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	109	11	9	20
6	イ	(1) 避難介助が必要な病院	4	3	3	3
		(2) 避難介助が必要な有床診療所	6	6	6	2
		(3) 上記(1)(2)以外の有床診療所、有床助産所				
		(4) 無床診療所、無床助産所	6	4	4	1
	ロ	(1) 高齢者施設	15	14	14	7
		(2) 救護施設				
		(3) 乳児院				
		(4) 障害児入所施設				
		(5) 障害者施設				
	ハ	(1) 高齢者施設	7	4	4	2
		(2) 更生施設				
		(3) 児童施設	15	14	14	
		(4) 障害児施設	1			
		(5) 障害者施設	5	3	3	
	ニ	幼稚園、特別支援学校	1	1	1	
7		小、中、高、専、大学校、各種学校	38	16	16	20
8		図書館、博物館、美術館	3	3	3	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場				
	ロ	公衆浴場				
10		車両の停車場、船舶、航空機の発着所				
11		神社、寺院、教会	22	16	15	3
12	イ	工場、作業場	125	13	13	34
	ロ	映画テレビのスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	10			1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	59	1	1	14
15		前各号に該当しない事業所	161	36	36	42
16	イ	1～4、5(イ)、6、9(イ)が存在するもの	28	11	11	1
	ロ	その他の複合用途	24	3	2	4
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財施設				
18		アーケード(延長50m以上)				

2 予防査察実施状況

単位：棟

署 所 別 防 火 対 象 物			本署	鷹島出張所	福島出張所	計	前年
合 計			106	15	15	136	49
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場				0	0
	ロ	公会堂、集会場	3	2		5	4
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ				0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	3			3	2
	ハ	風俗営業等				0	0
	ニ	カラオケボックス等				0	0
3	イ	待合、料理店				0	4
	ロ	飲食店				0	6
4		百貨店、マーケット	2			2	10
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12		1	13	0
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅				0	0
6	イ	(1) 避難介助が必要な病院	2			2	4
		(2) 避難介助が必要な有床診療所		1	1	2	6
		(3) 上記(1)(2)以外の有床診療所、有床助産所				0	0
		(4) 無床診療所、無床助産所				0	0
	ロ	(1) 高齢者施設	13	2		15	0
		(2) 救護施設				0	0
		(3) 乳児院				0	0
		(4) 障害児入所施設				0	0
		(5) 障害者施設				0	0
	ハ	(1) 高齢者施設			1	1	0
		(2) 更生施設				0	0
		(3) 児童施設			1	1	0
		(4) 障害児施設				0	0
		(5) 障害者施設				0	0
	ニ	幼稚園、特別支援学校				0	0
7		小、中、高、専、大学校、各種学校				0	0
8		図書館、博物館、美術館				0	0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場				0	0
	ロ	公衆浴場				0	0
10		車両の停車場、船舶、航空機の発着所				0	0
11		神社、寺院、教会				0	0
12	イ	工場、作業場	16	2	8	26	0
	ロ	映画テレビのスタジオ				0	0
13	イ	自動車庫、駐車場				0	0
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				0	0
14		倉庫		6	2	8	0
15		前各号に該当しない事業所	54			54	7
16	イ	1～4、5(イ)、6、9(イ)が存在するもの		1	1	2	6
	ロ	その他の複合用途	1	1		2	0
16の2		地下街				0	0
16の3		準地下街				0	0
17		文化財施設				0	0
18		アーケード(延長50m以上)				0	0

3 中高層(4階以上)建築物棟数状況

単位：棟

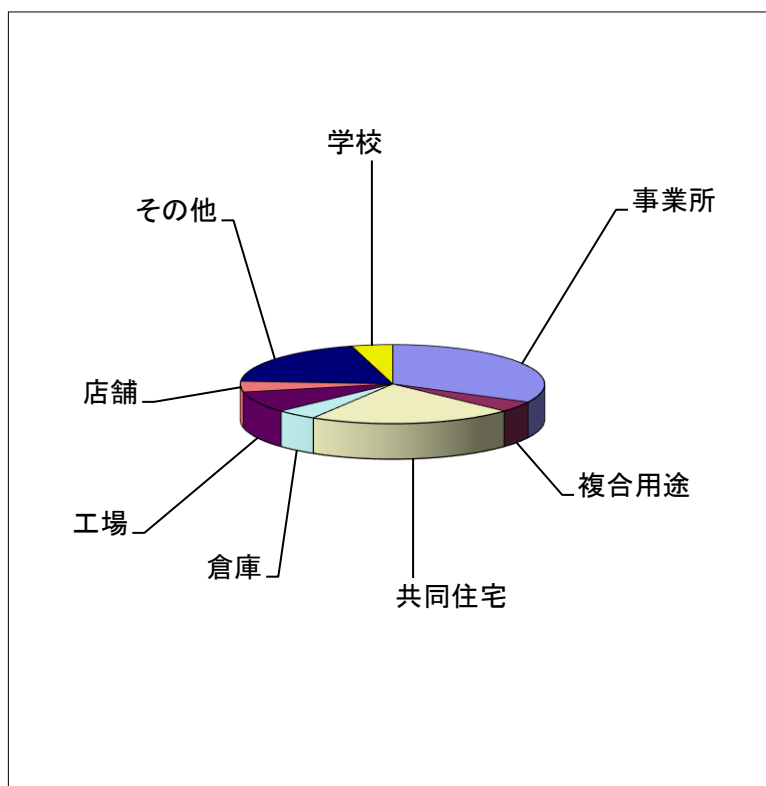
階 別			4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上
用 途 別									
合 計			55	22	28	1	1	1	1
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場							
	ロ	公会堂、集会場							
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ							
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	1					
	ハ	風俗営業等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合、料理店							
	ロ	飲食店							
4		百貨店、マーケット							
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	1	2				
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	29	9	19				1
6	イ	(1) 避難介助が必要な病院	2	2					
		(2) 避難介助が必要な有床診療所							
		(3) 上記(1)(2)以外の有床診療所、有床助産所							
		(4) 無床診療所、無床助産所	2	1	1				
	ロ	(1) 高齢者施設							
		(2) 救護施設							
		(3) 乳児院							
		(4) 障害児入所施設							
		(5) 障害者施設							
	ハ	(1) 高齢者施設							
		(2) 更生施設							
		(3) 児童施設							
		(4) 障害児施設							
		(5) 障害者施設							
	ニ	幼稚園、特別支援学校							
7		小、中、高、専、大学校、各種学校	1	1					
8		図書館、博物館、美術館							
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場							
	ロ	公衆浴場							
10		車両の停車場、船舶、航空機の発着所							
11		神社、寺院、教会							
12	イ	工場、作業場	1	1					
	ロ	映画テレビのスタジオ							
13	イ	自動車車庫、駐車場							
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14		倉庫	1	1					
15		前各号に該当しない事業所	13	7	2	1	1	1	
16	イ	1～4、5(イ)、6、9(イ)が存在するもの	1	1					
	ロ	その他の複合用途	1	1					
16の2		地下街							
16の3		準地下街							
17		文化財施設							
18		アーケード(延長50m以上)							

4 建築同意事務の累年比較

年別	件数	延 べ 面 積 (㎡)
24年	27	29,607.36
25年	22	24,339.97
26年	28	15,567.42
27年	52	20,144.96
28年	46	88,176.59

5 平成28年中の用途別建築同意件数

用途別建築同意件数		
用 途	同 意 数	割 合
事 業 所	15	32.6%
複 合 用 途	2	4.3%
共 同 住 宅	10	21.7%
倉 庫	2	4.3%
工 場	4	8.7%
店 舗	2	4.3%
寺 院	0	0.0%
駐 車 場	0	0.0%
そ の 他	9	19.6%
宿 泊 施 設	0	0.0%
学 校	2	4.3%
合 計	46	100%



6 平成28年中の月別工事別建築同意件数

月 別 工事別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
新 築	1	2	2	2	2	1	8	8	5	3	2	4	40
増 築				1	1		1	1					4
改 築							1						1
修繕・模様替													0
用途変更													0
移 転													0
そ の 他		1											1
合 計	1	3	2	3	3	1	10	9	5	3	2	4	46

7 平成28年中の月別署所別建築同意件数

月 別 署所別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
本 署	1	2	2	3	3	1	10	8	4	3	1	4	42
福島出張所		1						1	1				3
鷹島出張所											1		1
合 計	1	3	2	3	3	1	10	9	5	3	2	4	46

8 署所別危険物施設数

平成29年3月31日現在

製造所等 署所別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
総 計	150	0	82	13	42	2	15	0	8	2	68	36	0	0	0	32
本 署	108		61	8	34	1	10		6	2	47	22				25
福島出張所	22		12	4	3	1	3		1		10	7				3
鷹島出張所	20		9	1	5		2		1		11	7				4

(注) 上記の施設数は完成検査済証を交付した施設数

9 年度別危険物施設状況

区 分 年度別	危険物施設数	施設設置数	施設廃止数	対 前 年 比
23年	154	0	3	98.09%
24年	153	1	2	99.35%
25年	151	0	2	98.69%
26年	148	0	3	98.01%
27年	150	4	2	101.35%
28年	150	3	3	100.00%

10 数量別危険物施設数

平成29年3月31日現在

製造所等 数量別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第1種 販売 取扱所	第2種 販売 取扱所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
総 計	150		82	13	42	2	15		8	2	68	36	0	0	0	32
5倍以下	52		25	7	2	1	6		8	1	27	12				15
5倍を超え 10倍以下	32		20	2	10		7			1	12	1				11
10倍を超え 50倍以下	32		21	2	17	1	1				11	9				2
50を超え 100倍以下	12		5	1	3		1				7	5				2
100倍を超え 150倍以下	5		2	1	1						3	3				
150を超え 200倍以下	6		0								6	6				
200倍を超え 1000倍以下	5		5		5						0					
1000倍を超え 5000倍以下	5		4		4						1					1
5000倍を超え 10000倍以下	1		0								1					1

11 平成28年中の製造所等に対する立入検査状況

製造所等	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
施設数	140		77	13	40	1	14		7	2	63	32				31
延回数	140		77	13	40	1	14		7	2	63	32				31

12 平成28年中の危険物関係許認可・届出件数

署 所 別 法令別区分			合 計	本 署	福島出張所	鷹島出張所
			129	92	21	16
消 防 法	許 可	設 置 許 可	4	4		
		変 更 許 可	2	2		
	検 査	設 置 完 成 検 査	3	3		
		変 更 完 成 検 査	2	2		
		完 成 検 査 前 検 査	1	1		
	承 認	仮 使 用 承 認	1	1		
		仮 貯 蔵（取 扱）承 認	4	4		
	認 可	予 防 規 程 制 定（変 更）認 可	0			
	届 出	危 険 物 施 設 譲 渡 引 渡 届	0			
		品 名・数 量・倍 数 変 更 届	3	2	1	
危 険 物 保 安 統 括 管 理 者 選（解）任 届		0				
危 険 物 保 安 監 督 者 選（解）任 届		36	20	10	6	
危 険 物 施 設 廃 止 届		3	2		1	
完 成 検 査 済 証 再 交 付 申 請		0				
条 例 等	届 出	所 在 地・名 称 変 更 届	0			
		設 置 者（管 理 者 受 任 者）変 更 届	11	9		2
		危 険 物 施 設 休 止・開 始 届	1		1	
		製 造 所 等 変 更 届	24	17	3	4
		火 気 使 用 工 事 届 出	9	9		
	出	放 射 性 同 位 元 素 貯 蔵 取 扱 届	0			
		施 設 使 用 届 出（一 般 取 扱 所）	10	10		
		設 置 許 可 証 再 交 付 願	0			
		そ の 他	15	6	6	3

13 平成28年中の火災予防条例等に基づく届出件数

届 出 種 別	件 数
消防計画届出	40
防火管理者選(解)任届	40
圧縮アセチレンガス、液化石油ガス貯蔵取扱い届出	2
消防用設備等着工届出	15
消防用設備等設置届出	50
消防用設備等点検結果報告	202
防火対象物点検結果報告	11
防火対象物使用開始届出	18
少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱い届出	6
炉、ボイラー、乾燥設備設置届出	8
発電、変電、蓄電池設備届出	21
ネオン管灯設備設置届出	0
水素ガスを充てんする気球の設置届出	0
サウナ設備設置届出	0
火災とまぎらわしい煙又は火災を発生おそれのある行為の届出	36
煙火の打ち上げ又は仕掛けの届出	4
催物開催届出	9
露店等の開設届出	2
水道断水、減水届出	0
道路工事届出	29
合 計	493

14 平成28年中高齢者宅予防査察実施状況

署所別 区別	本 署	福島出張所	鷹島出張所	計
男	3	2	7	12
女	2	3	16	21
計	5	5	23	33

15 婦人防火クラブ・少年消防クラブ結成状況

平成29年4月1日現在

ク ラ ブ 名	結 成 年 月 日	クラブ員数	備 考
阿翁浦婦人防火クラブ	昭和23年11月1日	31人	平成5年度優良婦人防火クラブ
青島婦人防火クラブ	昭和27年1月7日	8人	昭和57年度 消防庁長官表彰 昭和58年度 総理大臣表彰 平成12年度 日本防火協会表彰
星鹿婦人防火クラブ	昭和27年1月7日	31人	平成3年度優良婦人防火クラブ表彰
川原辺田婦人防火クラブ	昭和28年1月7日		活動休止中
滑栄婦人防火クラブ	昭和42年1月7日		活動休止中
鷹島ジュニア消防クラブ	昭和55年3月10日	45人	昭和61年度全国少年消防クラブ 運営指導協議会表彰
青島少年消防クラブ	昭和55年3月10日	9人	昭和60年度・平成14年度全国少年 消防クラブ運営指導委員会表彰 平成17年度特に優良な少年消防クラブ表彰
志佐ジュニア消防クラブ	昭和57年12月18日	65人	自治体消防65周年記念表彰 優良少年消防クラブ
今福少年消防クラブ	昭和62年3月5日	46人	
上志佐ジュニア消防クラブ	平成14年11月1日	31人	平成22年度優良な少年消防クラブ表彰
御厨少年消防クラブ	平成23年9月29日	117人	
福島養源少年消防クラブ (平成28年4月学校統合)	平成28年4月1日	66人	統合前、養源少年消防クラブ 平成26年度全国優良少年消防クラブ表彰
星鹿少年消防クラブ	平成28年6月8日	48名	
調川少年消防クラブ	平成28年6月14日	53名	

16 幼年消防クラブ結成状況

平成29年4月1日現在

ク ラ ブ 名	結成年月日	クラブ員数	備 考
はまゆう園幼年消防クラブ	昭和60年12月	4人	
まどか保育園幼年消防クラブ	昭和61年6月	18人	
慈光幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年6月	47人	
松浦幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年6月	127人	
曙保育園幼年消防クラブ	昭和61年6月	34人	
今福保育園幼年消防クラブ	昭和61年1月	99人	
ほしか保育園幼年消防クラブ	昭和61年1月	65人	
調川保育所幼年消防クラブ	昭和61年1月	53人	
上志佐保育所幼年消防クラブ	昭和61年1月	42人	
御厨保育園幼年消防クラブ	昭和61年2月	67人	
たのしか保育園幼年消防クラブ	昭和61年2月	59人	
志佐保育園幼年消防クラブ	昭和61年1月	84人	平成3年度優良幼年消防クラブ表彰
うつみ乳児保育園幼年消防クラブ	昭和61年6月	37人	
鷹島保育所幼年消防クラブ	昭和61年5月	58人	
ひかりヶ丘保育園幼年消防クラブ	昭和61年4月	62人	
養源保育所幼年消防クラブ	昭和61年5月	25人	

17 平成28年中の広報活動状況

広報方法	内 容	本 署	福 島 出張所	鷹 島 出張所	合 計
防火映画	ビデオ	1 回 37 人	6 回 335 人	－ 回 － 人	7 回 372 人
防火講話		7 回 695 人	10 回 406 人	5 回 186 人	22 回 1,287 人
刊行物	チ ラ シ	6,990 部	1,004 部	857 部	8,851 部
	小学生用資料等	162 部	31 部	17 部	210 部
ポスター類	火災予防運動 ポ ス タ ー 小学生基準分	76 部	7 部	33 部	116 部
市町広報誌	情 報 提 供	12 回	12 回	12 回	36 回
街頭広報	春秋火災予防運動	9 回	8 回	14 回	31 回
	年末火災予防広報	6 回	4 回	2 回	12 回
	危 険 物 関 係	2 回	3 回	5 回	10 回
	防火クラブ関係	8 回	8 回	8 回	24 回
施設見学	小 学 生 等	19 回 488 人	1 回 19 人	－ 回 － 人	20 回 507 人

敬
言

防

1 火 災

(1) 火災種別別出場状況及び損害額

()は、損害を伴った火災。以下同じ

種別 年別	建 物		林 野	車 両	船 舶	その他	合 計	損害額(千円)
	住 家	非住家						
24年	2(2)	2(1)	3(0)	1(1)	0(0)	2(0)	10(4)	7,096
25年	2(2)	1(1)	2(0)	1(1)	0(0)	6(1)	12(5)	6,792
26年	3(3)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	4(0)	8(3)	5,472
27年	2(2)	3(3)	1(0)	1(1)	0(0)	1(0)	8(6)	9,405
28年	3(3)	1(1)	3(0)	0(0)	0(0)	4(2)	11(6)	12,479

(2) 署所別出場状況

年 別 署所別	24年	25年	26年	27年	28年
本 署	8	7	6	6	8
福 島 出 張 所	2	2	2	1	1
鷹 島 出 張 所	0	3	0	1	2
合 計	10	12	8	8	11

(3) 町別出場状況

年 別 町 別	24年	25年	26年	27年	28年
志 佐 町	2	3	2	1	1
御 厨 町	4	2	0	1	2
星 鹿 町	0	0	2	0	2
調 川 町	0	0	1	2	0
今 福 町	2	2	1	2	3
福 島 町	2	2	2	1	1
鷹 島 町	0	3	0	1	2
管 外 (応 援)	0	0	0	0	0
合 計	10	12	8	8	11

(4) 原因別発生状況

原 因 \ 年 別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
たばこ	1		1		
コンロ			1		1
かまど					
風呂かまど		1		1	
炉					
焼却炉					
ストーブ					
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道		1			
排気管					
電気機器					1
電気装置					
電灯・電話等の配線					
内燃機関					
配線器具		1			
火遊び	1				
マッチ・ライター				1	
たき火					
溶接機・溶断機					
灯火				1	
衝突の火花					
取灰					
火入れ	5	6	4	1	3
放火	1				
放火の疑い					
その他(ゴミ焼却)	1	1	1		2
不明・調査中	1	2	1	4	4
計	10	12	8	8	11

(5) 平成28年中月別発生状況

月 別 区 分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
建物火災	火災発生件数			1							1	2		4
	罹災世帯数										2	1		3
	罹災人員										7	3		10
	焼損棟数	木 造									3	1		4
		木造以外		1								1		2
	焼損面積(m ²)										90.6	2		92.6
	損害額(千円)			8,420							1,610	46		10,076
林野火災	火災発生件数					2			1					3
	焼損面積(a)					3.15			0.5					3.65
	損害額(千円)													0
車両火災	火災発生件数													0
	焼損台数(台)													0
	損害額(千円)													0
船舶火災	火災発生件数													0
	焼損台数(隻)													0
	損害額(千円)													0
その他の火災	火災発生件数				1			1	1			1		4
	焼損面積(m ²)								784			1450		2,234
	損害額(千円)				2,387			19						2,406
損害額計(千円)		0	0	8,420	2,387	0	0	19	0	0	1,610	46	0	12,482
死 者														0
負 傷 者														0

(6) 平成28年中時間帯別発生状況

署 所 別 時 間	本 署	福島出張所	鷹島出張所	合 計
0 ~ 1				0
1 ~ 2				0
2 ~ 3				0
3 ~ 4				0
4 ~ 5				0
5 ~ 6		1		1
6 ~ 7	1			1
7 ~ 8				0
8 ~ 9				0
9 ~ 10	2			2
10 ~ 11				0
11 ~ 12	2			2
12 ~ 13	1			1
13 ~ 14	1			1
14 ~ 15	1			1
15 ~ 16				0
16 ~ 17	1			1
17 ~ 18				0
18 ~ 19			1	1
19 ~ 20				0
20 ~ 21				0
21 ~ 22				0
22 ~ 23				0
23 ~ 24				0
不 明				0
合 計	9	1	1	11

2 救 急

(1) 年別出場件数

年 別 署 所 別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
本 署	765	841	849	789	824
福 島 出 張 所	131	108	131	117	96
鷹 島 出 張 所	87	86	80	91	99
合 計	983	1,035	1,060	997	1,019

(2) 事故種別・年別出場件数

種別 年別	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	合 計
24年			3	37	9	6	145	9	14	544	213	3	983
25年			1	53	7	4	137	4	14	579	234	2	1,035
26年			1	63	6	4	146	4	17	583	233	3	1,060
27年			2	61	11	8	128	5	11	571	198	2	997
28年			2	44	12	3	141	0	13	596	207	1	1,019

(3) 町別年別出場件数

年 別 町 別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
志 佐 町	352	389	400	344	351
御 厨 町	186	223	225	207	221
星 鹿 町	35	44	40	42	46
調 川 町	81	81	83	97	108
今 福 町	107	96	95	89	91
福 島 町	134	110	134	119	101
鷹 島 町	86	85	78	94	97
管 外	2	7	5	5	4
合 計	983	1,035	1,060	997	1,019

(4) 平成28年中の時間別・曜日別出場件数

	出 動 件 数	時 間 別 救 急 出 動 件 数												曜 日 別 救 急 出 動 件 数						
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	月	火	水	木	金	土	日
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24							
火 災																				
自 然 災 害																				
水 難	2							1	1						1		1			
交 通 事 故	44		1	5	6	6	6	4	3	7	2	2	2	9	12	4	2	8	4	5
労 働 災 害	12	1	1	1	1	2	1	1	2	2				1			1	3	2	5
運 動 競 技	3							1	1		1				2	1				
一 般 負 傷	149	8	3	5	9	18	17	22	21	20	9	9	8	19	21	23	23	19	22	22
加 害																				
自 損 行 為	13	1			1	1		4	1	1	2		2		2	3	2		4	2
急 病	587	29	26	33	44	73	54	58	55	56	63	57	39	93	94	63	93	96	62	86
転 院 搬 送	208	1	2	2		44	61	26	29	20	16	2	5	40	34	45	20	32	17	20
そ の 他	医 師 搬 送																			
	資 機 材 搬 送																			
	そ の 他	1							1								1			
合 計	1,019	40	33	46	61	144	139	117	114	106	93	70	56	162	166	139	143	158	111	140

(5) 程度別・事故種別別搬送人員

(単位:人)

事故種別 程度		年齢											
		急病	一般	交通	火災	自然	水難	労災	運動	加害	自損	その他	計
死 亡	新生児												0
	乳幼児	1											1
	少年												0
	成人	1						1			1		3
	老人	12	1	1			1					1	16
重 症	新生児												0
	乳幼児	2											2
	少年		1										1
	成人	7	2	4				1				11	25
	老人	32	13	2				1				50	98
中等症	新生児	1											1
	乳幼児	1	2	1								5	9
	少年	3	2									1	6
	成人	87	11	8				2	1		3	27	139
	老人	173	53	4				2				97	329
軽 症	新生児												0
	乳幼児	19	3	2								1	25
	少年	11	2	4				1	2			1	21
	成人	75	12	13			1	3			3	1	108
	老人	100	37	5				1				11	154
その他	新生児												0
	乳幼児												0
	少年												0
	成人												0
	老人	1										1	2
合計		526	139	44	0	0	2	12	3	0	7	207	940

(6) 救急隊員の行った応急処置件数

応急処置 傷病程度	応急処置対象者数	止	固	人	心	心	酸	気	保	被	在宅療法・継続	除	静	薬	血	心音・呼吸音聴取	酸素飽和度の測定	心電図測定	その他	合
		血	定	工	臓	肺	素	道	温	覆		細	脈	剤	測					計
		吸	呼	サ	マ	蘇	吸	確	保			動	確	投	定					
死 亡	20			12	5	14	12	18				5	2	2	1	3	1	9	4	88
重 症	125	2	23	1		2	58	3	6	2		1	2		118	9	119	48	52	446
中等症	476	9	35	1		1	146	2	20	3	2				459	43	454	121	213	1,509
軽 症	301	17	21	1			38		9	5					283	20	280	60	142	876
その他	2														2		1	1	1	5
合 計	924	28	79	15	5	17	254	23	35	10	2	6	4	2	863	75	855	239	412	2,924

(7) 現場到着所要時間別出場件数

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	10	79	302	188	8	587
交 通	1	4	27	10	2	44
一般負傷	4	22	63	55	5	149
上記以外	4	84	126	23	2	239
計	19	189	518	276	17	1,019

(8) 救急隊員資格取得状況(平成29年4月1日現在)

資格区分 隊員区分	救急Ⅱ課程修了	救急(標準)課程	救急救命士	未資格	合計
救 急 隊 員	6	30	19		55
救急隊員以外	6		3	2	11
合 計	12	30	22	2	66

3 救 助

(1) 救助器具の保有状況

器 具 名		署 所 別	本 署	福 島 出 張 所	鷹 島 出 張 所	合 計
一般救助用具	かぎ付きはしご		1			1
	二連はしご				1	1
	三連はしご		3	1	1	5
	ワイヤーはしご		1			1
	救命索発射銃		1			1
	平担架		1		1	2
	バスケット型担架		2			2
	救助用縛帯		3	1	1	5
	簡易縛帯		1			1
	滑車(ダブル)		1			1
	滑車(軽量滑車)		6	3	3	12
重量物排除用具	大型油圧スプレッダー		2	1	1	4
	大型油圧ジャッキ		3			3
	ポートパワー		1		1	2
	可搬ウインチ		2	1	1	4
	マンホール救助器具		1			1
	ワイヤーロープ		2	1	1	4
	マット型空気ジャッキ式		1			1
切断用具	大型油圧カッター		2	1	1	4
	エンジンカッター		2	1	1	4
	チェーンソー		2	1	1	4
	鉄線カッター		2	1	1	4
	空気鋸		1			1
	エアーツール		1			1
	酸素溶断機(ＯＺ)		1			1
破壊用具	万能斧		6	1	1	8
	ハンマー		1	1		2
	削岩機		1			1
	携帯用コンクリート破壊器具		1			1
測定用具	酸素・可燃性ガス測定器		2	1	1	4
呼吸保護用具	空気呼吸器		15	3	3	21
	予備ボンベ		40	3	3	46
	送排風機		1			1
水難救助用具	救命浮環		4	2	1	7
	救命胴衣		5	5	2	12
	救難用ボート(折りたたみ式)		1			1
隊員保護用具	耐電手袋		6	3	2	11
	耐電長靴		6	3	2	11
その他	緩降機		1			1
	空気圧縮機		1			1

(2) 隊員の訓練実施状況

年 別 項 目	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	実施回数	延べ人員	実施回数	延べ人員	実施回数	延べ人員	実施回数	延べ人員	実施回数	延べ人員
体 力 錬 成	103	721	105	818	73	882	98	756	102	704
ロープ基本・応用訓練	85	595	100	749	76	826	3	19	38	182
検 索 ・ 救 助 訓 練	3	23	2	30	21	160	62	403	41	285
各種器具取扱訓練	12	84	8	100	54	433	52	333	48	136
各種救助事象想定訓練	5	72	15	133	9	105	9	84	15	155
合 計	208	1,495	230	1,830	233	2,406	224	1,595	244	1,462

(3) 事故種別出場状況

区 分 事故種別	出 場 件 数		活 動 件 数		救 助 人 員	
	建 物	建物以外				
火 災						
建 物						
建物以外						
交 通 事 故	12		3		3	
水 難 事 故						
風水害等自然災害事故						
機 械 に よ る 事 故						
建物等による事故						
ガス及び酸欠事故						
爆 発 事 故						
そ の 他 の 事 故	1		1		1	
合 計	13		4		4	

4 無線

(1) 消防無線通信系統図



(2) 消防無線一覧表

● 消防デジタル無線

所属	呼出名称	区分	
本署	しょうぼうほうちだけ	基地局	
	しょうぼうおおやま	基地局	
	まつうらしょうぼう	統制局	通信指令室
	まつうらしょうぼう 1	車載型無線機	救急車 1 号
	まつうらしょうぼう 2	車載型無線機	救急車 2 号
	まつうらしょうぼう 3	車載型無線機	救急車 3 号
	まつうらしょうぼう 4	車載型無線機	ポンプ車
	まつうらしょうぼう 5	車載型無線機	タンク車
	まつうらしょうぼう 6	車載型無線機	救助工作車
	まつうらしょうぼう 7	車載型無線機	指令車
	まつうらしょうぼう 8	車載型無線機	広報車
	まつうらしょうぼう 9	車載型無線機	広報車
	まつうらしょうぼう 10	車載型無線機	広報車
	まつうらしょうぼう 11	車載型無線機	予備
	まつうらしょうぼう 16	可搬型無線機	
	まつうらしょうぼう 101	携帯型無線機	
	まつうらしょうぼう 102	携帯型無線機	
	まつうらしょうぼう 103	携帯型無線機	
鷹島出張所	しょうぼうたかしま 1	卓上型無線機	鷹島出張所
	まつうらしょうぼう 21	車載型無線機	救急車
	まつうらしょうぼう 22	車載型無線機	タンク車
	まつうらしょうぼう 201	携帯型無線機	
福島出張所	しょうぼうふくしま 1	卓上型無線機	福島出張所
	まつうらしょうぼう 31	車載型無線機	救急車
	まつうらしょうぼう 32	車載型無線機	ポンプ車
	まつうらしょうぼう 301	携帯型無線機	

■ 署活系無線機

所属	呼出名称	区分
本署	しょうぼうまつうらかつどう 1～22	署活系携帯型無線機
鷹島出張所	しょうぼうたかしまかつどう 1～4	署活系携帯型無線機
福島出張所	しょうぼうふくしまかつどう 1～4	署活系携帯型無線機

5 消防用機械一覧表

平成29年4月1日現在

配置場所	車 両 別	車 種	配備年月	主 な 装 備
本 署	救急自動車 1号 (高規格)	トヨタ	H. 22. 6	半自動体外式除細動器 生体情報監視装置 心肺蘇生セット 自動式人工呼吸器 輸液用資器材 携帯用人工呼吸器 固定用資器材
	救急自動車 2号 (高規格)	トヨタ	H. 20. 2	自動体外式除細動器 生体情報監視装置 心肺蘇生セット 自動式人工呼吸器 輸液用資器材 携帯用人工呼吸器 固定用資器材
	救急自動車 3号 (高規格)	トヨタ	H. 17. 3	自動体外式除細動器 生体情報監視装置 心肺蘇生セット 自動式人工呼吸器 輸液用資器材 携帯用人工呼吸器 固定用資器材
	消防ポンプ 自 動 車	日 野	H. 20. 3	噴霧消火装置 電動格納式ホースカー 小型可搬ポンプ メタルハライド照明装置 バルーン照明装置 サイドプル式吸管収納装置 空気呼吸器 ダンパー式三連梯子収納装置 水槽550L
	水槽付 消防ポンプ 自動車	日 野	H. 20. 11	CAFS消火装置 フォームプロ消火装置 放水銃 電動式梯子収納装置 水槽2000L 空気呼吸器 リモコン式メタルハライド照明装置
	救助工作車	日 野	H. 22. 2	クレーン ウインチ(前後) 有毒ガス検知器 大型油圧救助器具 空気呼吸器 都市型救助資器材 リモコン式メタルハライド照明装置
	指 令 車	トヨタ	H. 19. 3	
	広 報 車	トヨタ	H. 21. 8	
	搬 送 車	日 産	H. 17. 1	
	広 報 車	スズキ	H. 19. 2	夜間照明灯
福 島 出 張 所	救急自動車 (高規格)	トヨタ	H. 27. 3	半自動体外式除細動器 生体情報監視装置 心肺蘇生セット 自動式人工呼吸器 輸液用資器材 携帯用人工呼吸器 固定用資器材
	消防ポンプ 自 動 車	日 野	H. 26. 3	フォームプロ消火装置 水槽800L ガス検知器 大型油圧救助器具 照明装置 放水銃 三連梯子 空気呼吸器 小型可搬ポンプ
鷹 島 出 張 所	救急自動車 (高規格)	トヨタ	H. 28. 3	半自動体外式除細動器 生体情報監視装置 心肺蘇生セット 自動式人工呼吸器 輸液用資器材 携帯用人工呼吸器 固定用資器材
	水槽付 消防ポンプ 自動車	日 野	H. 27. 3	フォームプロ消火装置 水槽2000L 大型油圧救助器具 メタルハライド照明装置 放水銃 三連梯子 空気呼吸器 小型可搬ポンプ

6 消防水利の状況

平成29年4月1日現在

市町名 \ 種別	公 設 消 火 栓	公 設 防 火 水 槽
松 浦 市	582	349

消防団

1 消防団階級別人員一覧表

階 級	人 員 数
団 長	1
副 団 長	2
本部分団長	7
分 団 長	27
副 分 団 長	27
部 長	59
班 長	190
団 員	544
計	857

(条例定数899人)

2 消防団機械配置状況

機 械 別	台 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車	12
小型動力ポンプ積載車	49
小 型 動 力 ポ ン プ	49
指 揮 車	1

3 団員の勤続年数別人員

勤 続 年 数	人 員 数
5年未満	194
5年以上～ 10年未満	202
10年以上～ 15年未満	165
15年以上～ 20年未満	145
20年以上～ 25年未満	93
25年以上～ 30年未満	36
30年以上	22
計	857

4 団員の年齢別人員

年 齢	人 員 数
20歳以下	5
21歳～30歳	123
31歳～40歳	364
41歳～50歳	249
51歳～60歳	102
61歳以上	14
計	857